

ヤマサギソウ

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

Platanthera mandarinorum Reichb. fil. var. *brachycentron* (Franch. et Savat.) Koidz.

国カテゴリー

該当なし

選定理由

本県では稀産の植物で、草地の減少とともに生育条件が失われつつある。(現況:RO)

形態

茎は肥厚した根から出て、高さ20~40cm、やや稜がある。最下位の葉は大きくて、線形長楕円形、長さ5~11cm、幅1~1.5cm。他の葉は小さく披針形で2~5個。穂状花序は黄緑色の小花を10個内外着ける。萼片の長さは10~12mm。距は後方に曲がり12~20mm。唇弁は舌状でやや肉質、長さ10~15mm。種内変異が発達し、数変種があるが本県には本変種のみが分布。

国内分布

北海道、本州、四国、九州、さらに樺太、朝鮮、中国にひろく分布。

県内分布

奥能登、口能登・加賀中央部、南加賀区(白山麓)に分布。

生態など

地生の多年生草本。開花期は5~7月。

生育環境

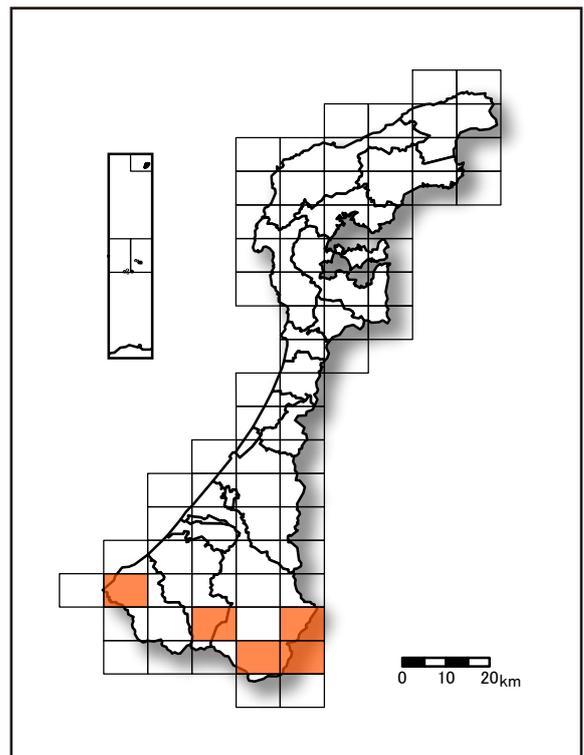
日当たりのよい草地に生育。

危険要因

土地造成、道路工事、園芸採取、不明。



小牧(1987)より引用



県内の分布